

京都フレックス学園構想の推進

様々な学習ニーズを持つ生徒が、卒業までの年数を選んだり、授業の時間帯を選んだりできる、新しいタイプの高校を新設。京都府オリジナル教科、実習や体験学習を多く取り入れた授業、民間企業や大学等との連携など、これまでにない多様な学習を取り入れます。

結ネットKYOTO

～子どもと社会を結ぶまなびづくり～

法教育や金融教育など様々なテーマについて、その道の専門家による出前授業をスムーズに実施するため、関連する機関や団体によるネットワークを広げます。



京都府スーパーサポートセンター

～特別支援教育の充実～

「京都府スーパーサポートセンター」を拠点に、府内各地で専門的な研修・研究・教育相談を行い、発達障害を含む障害のある子どもたちへの、生涯にわたる支援体制を整備します。

子どもたちの「いのち」を守る取組の推進

東日本大震災の教訓を踏まえた防災教育をはじめ、不審者対策、交通安全など、子どもたちに自ら「いのち」を守るために必要な「知恵」を身に付けさせるための取組を支援します。また、各校の学校安全計画を実効性のあるものに見直すための研修や地域で考えられる災害への対応を含め、危機管理マニュアルの作成に対して、チェックやアドバイスをを行います。



高校生グローバルチャレンジ500

～国際社会で活躍できる人材を育成～

友好提携都市である英国エディンバラをはじめ、世界各地への府立高校生の短期・長期留学を支援します。語学研修に加え、演劇やスポーツなど、自分がチャレンジしたい分野を海外で学べるシステムにより、グローバルに活躍できる人材を育成します。

「もうすぐ1年生」体験入学

小学校に入学してからの生活をスムーズに送れるように、入学前の子どもたちが体験入学や出前授業、交流学习などに参加できるように、年間を通した多彩な取組を広げます。



少年非行総合対策

- ・問題行動の未然防止を図るため、家庭での生活・学習習慣の定着等を支援する「まなび・生活アドバイザー」を拡充し、小学校に配置します。
- ・暴力行為の多発等課題のある中学校には生徒指導緊急指導教員を配置し、早期解決に向けた指導体制を強化します。
- ・児童・生徒の非行や犯罪被害の未然防止、非行からの立ち直り等の支援をさらに推進するため、警察や関係機関との連携を図ります。

現場のニーズに応える教員研修

- ・現場のニーズに応じて教員が学校等で研修を受けられる「出前講座」を実現します。
- ・教科指導力を高める大学連携講座や、民間企業等の優れたノウハウを学校運営に活かす民間企業等連携講座など地元京都の力を活かした講座を実施します。



被災地児童生徒の心の復興

福島県の子どもたちを夏休みに京都に招いて、京都府ならではの体験活動や府立高校の施設を利用した実習授業を行い、被災地の復興を支援します。



学校改革リーダーの養成

中堅・若手教員が大学、企業等と連携して高校改革に関する調査・研究、政策提案する「学校改革リーダー養成事業」を実施し、今後の高校教育の中心的役割を担う教員を養成します。

災害に強い安心・安全な学校づくり

災害から子どもの命を守ることを最優先に、府立学校施設の耐震化工事を加速化させ、一日も早い耐震化工事の完了を目指します。

教師を目指す学生への支援

教師を目指す大学生に即戦力となりうる実践力を身に付けてもらうため、大学と協働した学校インターンシップ「教員養成サポートセミナー」や「教師力養成講座」を実施し、優秀な人材の育成に努めています。実習校には専任の指導教員を配置するなど、全国に例のない充実した体制を整備しています。



つながり、創る、京の知恵

京都府教育委員会では、「京都府教育振興プラン」に基づき、歴史と伝統にはぐくまれたふるさと京都が持つ様々な力を活かし、学校や地域の実情に応じた「京都府ならではの教育」を進めています。

- 重点目標 8. すべての教育の出発点である家庭教育を支援する
- 重点目標 9. 地域社会の力を活かして子どもをはぐくむ環境をつくる
- 重点目標 10. 生涯学習社会の実現に向けて学習環境を充実させる

親のための応援塾

就学前の子どもを持つ保護者が、先輩保護者とともに子育ての不安や悩みについて話し合い交流を深めます。
PTAが主体となって保護者同士のネットワークづくりを進める京都府独自の取組です。

地域社会で子どもたちを包み込む環境の整備

地域の力を活かして学校活動の充実を図る「学校支援地域本部」、子どもたちの学習活動や体験活動等の充実を図る「京のまなび教室」、子どもたちを見守る「学校安全ボランティア」など、地域社会で子どもたちをはぐくむ環境を整備します。



地域の特色を活かした教育

府内各地域の教育課題に対応するため、教育局では、大学や関係機関と連携し、ふるさとの自然・伝統・文化など、地域の力を活かした取組を展開します。



土曜日を活用した教育

土曜日における学校、家庭、地域社会が連携した多様で魅力的な教育活動の実現に向け、小・中学校、府立高校で土曜日授業等の実践研究を実施します。

高校生による地域貢献

文化・スポーツ体験や見守り活動など、府立高校生が地域と連携した様々な活動に取り組み、子どもから大人まで世代をつなぐことで、地域社会の活性化に貢献しています。



- 重点目標 1. 質の高い学力をはぐくむ
- 重点目標 2. 規範意識や人を思いやり尊重する心など、豊かな人間性をはぐくむ
- 重点目標 3. たくましく健やかな身体をはぐくむ

子どものための京都式少人数教育

小学校で30人程度、中学校で35人以下の学級編制が可能な教員を配置し、市町（組合）教育委員会が子どもや学校の状況に応じて、少人数教育の手法を選択し実施。特に小学校1・2年生では、35人以下の少人数学級編制に加え、チームティーチングを行うなど、きめ細かな学習・生活指導を推進します。

市町（組合）教育委員会が
少人数授業
チームティーチング
少人数学級
から自由選択

中1振り返り集中学習「ふりスタ」

中学1年生の早い時期に小学校の基礎基本を徹底することにより、学習のつまずきの解消を図ります。

京の子ども 元気なからだスタンダード PLUS⁺

一人一人の子どもの運動や身体動作の獲得状況を把握できる指標「京の子ども元気なからだスタンダード（小学校3・4年生版）」を活用し、子どもたちの実態に応じた体力向上を図ります。今年度は小学校5・6年生版の「スタンダードPLUS⁺」を作成します。



算数・数学ナビつ〜るの作成 〜課題対応型学習の支援〜

府独自の学力診断テストを実施するとともに、課題に応じて学習できるデータベースソフト「算数・数学ナビつ〜る」により、一人一人に応じた学校での指導を支援します。今年度は、新たに英語の教材（冊子）を作成します。



「京の子ども 明日へのとびら」

京都ゆかりの文化人や学識経験者など、各分野で活躍する51名の執筆陣による生き方応援メッセージがいっぱいつまった、子どもたちの「心の教育」のための学習資料集です。



伝統文化の継承

古典作品や地域に伝わる昔話などの朗読・暗唱大会を開催します。また、京都にゆかりの深い茶道や華道などを通じた伝統文化の学習をすべての府立高校で実施し、伝統文化への関心を高めます。

